

被災地支援繰出し隊

1995年の阪神淡路大震災以降、災害ボランティアとして被災地に赴く機会も多くなりましたが、毎回の悩みの種は、そこに行くための多額の交通費のことでした。

これを多少とも軽減したいという思いから、仲間と車に相乗りし、出向くという方法が一般的になっていきました。

これをもっと広く呼びかけて、マイクロバスのレンタカーを借りて多人数で繰り出すことを考えました。この場合に要する経費を参加者で分割したら、1人当たり結構リーズナブルな負担で行けることを知りました。適正な人数が集まれば、この方法で被災地に出向きたいと思います。運転者は、大型免許を持っている参加者が交代しながら、過度の負担がないように運転することを心掛けます。

愛知県内に、結構手ごろな費用でマイクロバスが借りられる業者があるので、その車両を用いて繰り出せば、別表にある金額で行けることになります。

例えば、4日間の日程で、福島県内にある災害ボランティア活動拠点に20人のメンバーで繰り出すとします。愛知県内から高速道路を走って現地まで行くと、片道700kmの走行として、その往復のバスの走行に掛かる総経費は137,760円ですが、それをメンバーで均等に分け合えば、1人6,888円の負担で済むという計算になります。

もちろんこれ以外に宿泊費等の諸経費を要しますが、これについてはいろいろな展開の仕方がありますので、それはその都度の協議で決めます。

参加者は、実施日前日までにボランティア活動保険に加入してもらいます。
(別途、旅行保険に加入してもらう場合もあります。)

この手法は、被災地支援だけではなく、地域のボランティア活動への応用、また自分たちの行楽にも活用できます。

